



5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】文化財課保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】市が所有または管理する指定文化財等について、適正な管理を図る。</p> <p>【事業の成果】          ①指定文化財の適切な管理を行うために除草作業を実施した。          ②嘉慶の碑(青谷町青谷)の看板の修繕を行った。          ③次年度以降策定を計画している歴史文化基本構想に関する会議やその他文化財の保護に関する研修会への参加</p> <p>【今後の課題・方向性】既存の文化財の適正な管理とともに、未指定の文化財等の調査・把握に努める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	文化財案内看板等設置数	25%				
	2	歴史文化基本構想の策定					
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	豪雪のため、看板修繕ができなかった場所があるため
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	豪雪によって看板修繕より緊急性の高い修繕が生じたため、予算を振り替えたため

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 既存の文化財の適正な管理とともに、未指定の文化財等の調査・把握に努める。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	023802	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理・活用事業(池田家墓所管理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成16年度 ~ 平成32年度
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財 保護条例
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	補助金交付
	主な文化財関連施設への入込数		100,717人	109,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	史跡鳥取藩主池田家墓所管理補助金			予算事業コード	01-09-04-05-02-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取藩主池田家墓所
意図 (どのような状態 にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、平成15年度に策定した「保存整備計画」に基づく復元や保存修理・環境整備を行う。また、その成果を活用し、文化財の利活用を推進する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ○藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催 ○次年度工事の設計 ○史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ○藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催(2回) ○次年度工事の設計 ○史跡管理と啓発事業(燈籠会、写真コンクール等)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	10,826	0	0	0	0	
	直接経費 A	10,826	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,826	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	人	目標	600
			実績	700	0	0	0	0
	(指標の説明) 池田家墓所燈籠会等、池田家墓所を活用したイベントへの来場者数。基準値は27年度実績							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P242(教054)</p> <p>【事業の概要】 鳥取藩主池田家墓所は、(公財)史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、日常的な管理事業及び保存修理事業を実施し、いずれも「公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助金等交付要綱」に基づいて鳥取市は補助負担している。このうち、保存修理事業は、平成15年度に策定した保存整備計画に基づき、劣化の進行した個所に関する保存修理を実施中である。事業期間は、平成16年度から平成32年度までの予定。</p> <p>【事業の成果】 経費及び管理費の一部を補助し、文化財の保護・保存を図る。 ◎管理事業 ※管理人報酬・理事会と啓発事業(①燈籠会②写真コンクール開催等)を実施した。</p> <p>◎保存修理事業 ※藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会(2回)・翌年度の設計を実施した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成32年度の事業完了に向け、着実な事業実施を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	117%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>今後も県と共同で適正な管理・活用を進めていく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	023901	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡等保存・整備事業(美敷水源地)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち	事業期間	平成21年度 ~ 平成30年度	
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	事業分類区分	建設、整備
	主な文化財関連施設への入込数		100,717人	109,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	美敷水源地保存整備事業費		予算事業コード	01-09-04-05-25-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	重要文化財旧美敷水源地水道施設
意図 (どのような状態 にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	建造物の保存修理と環境整備を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①指定文化財建造物の修理工事を実施する。 ②文化財を活用するための見学路等の施設を整備する。 ③可能な範囲で公開事業を実施する。	①指定文化財建造物の修理工事を完了し、事業報告書を作成する。 ②文化財を活用するためのガイダンス施設の設置等を行う。 ③可能な範囲で公開事業を実施する。	①ガイダンス施設内の展示物を整備する。 ②整備の完成を記念した行事等を実施し、公開活用を開始する。 ③委託による定常管理・活用に移行する。 ④水道局より土地の移管を受ける。	文化財の適正な保存管理と公開活用を継続して実施する。	文化財の適正な保存管理と公開活用を継続して実施する。	
	年度別実績	①文化財建造物の修理工事を実施した。 ②見学路、アズマヤの整備等を行った(一部繰越)。 ③10月29日に全国近代化遺産一斉公開に合わせて一般公開を実施した。					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	118,771	0	0	0	0	
	直接経費 A	118,771	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	76,321	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	42,450	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	美敷水源地の建造物修理工事の進捗率	%	目標	80	100	0	0	0	
				実績	80	0	0	0	0	
	(指標の説明) 建造物の保存修理の進捗率									
	2	特別公開・見学会等の参加人数	人	目標	200	200	2500	0	0	
				実績	220	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算別事業概要目次：当初予算</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 重要文化財建造物の保存修理事業（平成25～29年度）</li> <li>2 重要文化財建造物の活用整備事業（平成25～30年度）</li> </ol> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 指定文化財である制水井の上屋5基、接合井、人道橋等の保存修理を行い、継続的に保存・活用できる状況に近づけた。</li> <li>2 見学路およびアズマヤの整備を行い、公開に向けて整備を進めることができた。</li> </ol> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>平成29年度に文化財建造物の修理を完了し、30年度には活用のための整備を終えて公開を開始する。管理運営は、地元を中心とする美敷水源地保存会（仮）に委託とし、適切な管理と運営を図る。希少な近代化遺産、あるいは景勝地として、市民の利用を促進するとともに全国にアピールし、活用をすすめていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	美敷水源地の建造物修理工事の進捗率	100%				
	2	特別公開・見学会等の参加人数	110%	110%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	<p>気候(大雪)のため工事が遅延し、明許繰越による工事が発生したが、誤差の範囲と考える。</p>
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>10月の一般公開以外にも見学希望があり、文化財課立会いの上で見学を受け入れた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント  <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small></p> <p>事業は順調に進んでおり、公開・活用を念頭に置いて、施設を良い形でオープンさせていきたい。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	023902	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡等保存・整備事業(上寺地遺跡)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活力があるまち		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	文化財保護法
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		100,717人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	上寺地遺跡管理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-16-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡青谷上寺地遺跡
意図 (どのような状態 にするために)	史跡青谷上寺地遺跡は現在14万6,132.99㎡の広さがあり、市有地、県有地及び私有地が混在しており、史跡内の私有地について県が公有地化を進めている。「国史跡青谷上寺地遺跡 保存管理計画及び整備活用基本計画」に沿って、史跡内の環境保持と情報発信に努めるとともに、平成28年度から県と共同で史跡整備の具体化を進め、国内有数の貴重な弥生遺跡である青谷上寺地遺跡を活かして地域活性化や郷土の誇りにつなげる。
手段 (どうするのか)	史跡地内の市有地及び県有地については、史跡整備まで市及び県それぞれが除草・水路管理等を実施し、情報発信及び体験事業については、県、市及び関係団体で組織する青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で連携して活動している。全国的な知名度アップと来訪者数の増加を目指す。また、史跡整備については、発掘調査成果や弥生の王国調査整備活用委員会の意見等を踏まえ、県と共同で基本設計、実施設計及び整備を進めていく。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う実施設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う実施設計負担
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,932	0	0	0	0	
	直接経費 A	3,932	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,932	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	回	目標	2
	(指標の説明) 史跡内の草刈等の環境整備実施回数		実績	2	0	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P241 (教057)</p> <p>【事業の概要】 青谷上寺地遺跡は弥生時代の多種多様な遺物が大量に出土している貴重な遺跡であり、平成20年3月に国史跡に指定され、その後4回にわたり追加指定が行われた。 現在146,132.99㎡の指定地のうち52,484.28㎡が市有地であり、公有地化を進めている鳥取県とともに遺跡の維持管理、活用、情報発信等を進めており、平成28年度から30年度にかけて県と共同で遺跡整備のための基本設計を行っている。</p> <p>【事業の成果】 史跡青谷上寺地遺跡内の除草 799,200円 史跡青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会委託への負担 1,886,444円 史跡青谷上寺地遺跡の整備事業(基本設計)に係る負担 1,246,000円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成22年3月に策定した整備活用基本計画に基づき、県と共同で史跡整備等を進める必要がある。市民の誇りや地域活性化、交流人口増加等につながるよう、地元要望に配慮しながら遺跡整備を進める必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	史跡地内の除草、史跡青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会委託への負担、整備に係る基本設計負担とも計画どおり進捗した。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	史跡地内の除草、史跡青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会事業、遺跡整備に係る基本設計とも計画どおり成果があった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 史跡青谷上寺地遺跡の整備や展示施設の拡充等については、以前から青谷地域の要望が強かったものであり、平成28年度から県と共同で基本設計に着手し、整備活用基本計画を具体化していく。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取城跡保存修理事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	昭和32年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存 整備基本計画・文化財保護法
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		100,717人	109,000人	会計区分	
予算	予算事業名	鳥取城跡保存修理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-06-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平
意図 (どのような状態 にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするか)	「保存整備基本計画」に基づき、史跡鳥取城跡の建造物の復元や石垣の修理、環境整備などを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		年度別計画	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。
年度別実績	①大手登城路内の内、擬宝珠橋復元に着手した。 ②内堀の崩落した石垣を修理した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行なった。					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	273,375	0	0	0	0
	直接経費 A	273,375	0	0	0	0
	国・県	163,919	0	0	0	0
	地方債	56,400	0	0	0	0
	その他	472	0	0	0	0
一般財源	52,584	0	0	0	0	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	大手登城路の発掘調査の進捗率	%	目標	70
	(指標の説明) 大手登城路内の発掘調査の進捗率。		実績	70	0	0	0	0
2	大手登城路等石垣修理	%	目標	5	30	45	50	60
	(指標の説明) 大手登城路及びその周辺の石垣修理工事の進捗率。		実績	5	0	0	0	0
3	大手登城路復元整備事業	個	目標	1	1	2	2	2
	(指標の説明) 大手登城路内で整備する復元建造物の整備工事数。		実績	1	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P242(教054) 6月補正・P35</p> <p>【事業の概要】 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。現在は、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」(平成18年度策定)に基づき、平成30年代前半期の完成を目標に大手登城路復元整備事業に取り組んでおり、復元の資料を得るための発掘調査を、平成20年度より補助事業として実施している。</p> <p>【事業の成果】 復元整備に取り組んでいる大手登城路の建物のうち、平成27年度に「擬宝珠橋」「表御門」の復元について、文化庁から許可を得ることができ、平成28年度に擬宝珠橋復元に着手した。 鳥取城跡の復元整備・環境整備を実施することで、市民の文化財保護意識を醸成するとともに、来訪者の増加等、市の代表的な史跡として活用を図ることができた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成30年代前半期の完成を目指して大手登城路の復元整備を進めるとともに、史跡全体の整備活用を図っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	大手登城路の発掘調査の進捗率	100%				
	2	大手登城路等石垣修理	100%	100%			
	3	大手登城路復元整備事業	100%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>大手登城路の復元整備・石垣の保存修理等を着実に実施する。また、基本計画策定時から懸案となっている、滞留する観光資源としての磨き上げ施策の実施、一元的な管理運営組織の設置を目指す。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024100	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化財調査事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標の 種別	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		100,717人	109,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	文化財調査費			予算事業コード	01-09-04-05-11-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	開発原因者
意図 (どのような状態 にするために)	遺跡の範囲を確認し、開発事業との調整を図る。
手段 (どうするのか)	開発事業計画区域内に試掘調査を実施し、遺跡の有無を確認する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	
	年度別実績	①試掘調査件数 10件 ・山手所在遺跡 ・湖山所在遺跡 ・青谷上寺地遺跡 ・亀井茲矩公墓所					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	21,504	0	0	0	0	
	直接経費 A	21,504	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	11,734	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,770	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	試掘調査を実施した遺跡数	件	目標	18	10	10	10	10	
				実績	10	0	0	0	0	
	(指標の説明) 試掘調査を実施した遺跡数									
	2	開発事業との協議件数	件	目標	100	150	150	150	150	
				実績	232	0	0	0	0	
	(指標の説明) 開発事業との協議件数									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次：当初予算・P243 (教056) 9月補正・P26 (教006)</p> <p>【事業の概要】          埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。</p> <p>【事業の成果】          各種開発事業との調整を図るために試掘調査を10件実施した。          (調査箇所)          山手所在遺跡 55.6㎡ 可燃物処理施設建設計画          湖山所在遺跡 63.0㎡ 建物建設事業計画          青谷上寺地遺跡 135.0㎡ 工場建替事業計画          亀井茲矩公墓所 13,000㎡ 史跡指定に伴う事前調査(測量調査)          ほか          計 10件 370.3㎡ (測量面積除く)</p> <p>【今後の課題・方向性】          近年、高速道路などの大型公共事業のほか民間開発に伴う問い合わせ件数も増加傾向にあり、公共工事だけでなく民間開発にも対応できるように体制を強化する必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	試掘調査を実施した遺跡数	56%				
	2	開発事業との協議件数	232%	232%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	依頼のあった試掘調査は年度内に計画どおり実施している。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	試掘調査は依頼があった場合のみ発生するもので、年度によって大きな差が生じるため、計画地を下回ったとはいえ、依頼があったものにはすべて対応しているので問題はない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる開発事業については、今後も試掘調査等を実施しながら調整を図る必要がある。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024200	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	埋蔵文化財体験・活用事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		100,717人	109,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	埋蔵文化財体験・活用事業			予算事業コード	01-09-04-05-30-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民及び市内の小学校
意図 (どのような状態 にするために)	出土品を直接触れる機会を創出したり、発掘調査の成果を市民に公開する場を設ける。
手段 (どうするか)	出土品の活用を図るために小学校へ出前授業を実施する。展示会は博物館はもとより、公民館や図書館等の施設で開催し市民へ調査成果等を還元する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業 ④古墳ガイドブック作製	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業	
	年度別実績	①出土品の展示会 (博物館1回) (地区公民館2箇所) ②遺跡の見学会 (梶山古墳 栃本廃寺跡) ③小学校への出前授業 (市内35校) ④古墳ガイドブック作製					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,088	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,088	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	793	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	295	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	発掘展の入場者数	人	目標	1000	1000	1000	1000	1000	
				実績	4161	0	0	0	0	
	(指標の説明) 発掘展の入場者数									
	2	遺跡見学会の参加者数	人	目標	200	200	200	200	200	
				実績	350	0	0	0	0	
	(指標の説明) 遺跡見学会の参加者数									
3	出前授業実施率		%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	79.5	0	0	0	0	
(指標の説明) 出前授業実施率										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 多くの市民に考古学の楽しさや地域の歴史に興味・関心をもってもらうために展示会や出前授業を行い、文化財愛護精神の醸成を図る。</p> <p>【事業の成果】 1 小学校への出前授業を実施した。(市内44校中35校) 2 鳥取市歴史博物館で埋文展を開催した。(入館者4161名) 地区公民館で埋蔵文化財展を行った。 3 史跡の見学会を行った(約350名) 4 古墳のガイドブックの作製</p> <p>【今後の課題・方向性】 小学校への出前授業では、実施校の満足度高く、次年度以降も希望する学校は100%である。今後は授業内容に変化を持たせ未実施の学校へも働きかけをし、最終的には全学校で実施できるようにする。展示会は博物館だけではなく、公民館や図書館等の施設で開催し、より積極的に市民へ調査成果等を還元できるようにする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	発掘展の入場者数	416%				
	2	遺跡見学会の参加者数	175%	175%			
	3	出前授業実施率	80%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	例年通りの事業を実施することができた。
事業の成果  <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	出前授業は希望する小学校へ出かけているので、申込みがない学校へは積極的に申し込みをお願いする。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>整備した史跡等の活用や出土遺物を広く市民に見ていただく機会を創出し、より文化財に親しみを持っていただけるように事業を充実させていく必要がある。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024301	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(仁風閣・宝扇庵)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	昭和51年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	文化財保護法、鳥取市仁風閣及び宝扇庵の設置及び管理に関する条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	指定管理
	主な文化財関連施設への入込数		100,717人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	仁風閣・宝扇庵管理費			予算事業コード	01-09-04-05-07-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	仁風閣・宝扇庵
意図 (どのような状態にするために)	重要文化財建造物を含む施設の維持管理を行うとともに、文化財・文化観光施設としての活性化を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、文化財建造物の適正な管理と施設の円滑な管理運営を行い各種展示・イベント等の活用事業を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		年度別計画	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③外壁等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③門扉等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震診断の実施	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震・修理工事の実施
年度別実績	①施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③外壁等改修						
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	19,153	0	0	0	0	
	直接経費 A	19,153	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	19,153	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	人	目標	37000
	(指標の説明) 仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数		実績	39097	0	0	0	0
2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	80	80	85	85	85
	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合		実績	85	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P243 (教055)</p> <p>【事業の概要】 仁風閣は片山東熊博士の設計により明治40年5月に建設された山陰地方を代表する洋風建築であり、昭和48年に重要文化財に指定された。昭和49年から51年にかけて建物の半解体修理を行い、51年11月から一般公開している。また、宝扇庵は江戸時代に扇御殿の化粧間(けわいのま)として建築されたもので、昭和48年に修復を行っている。 重要文化財の公開施設である仁風閣は、同敷地内にある宝扇庵と合わせて平成18年4月から指定管理者による管理運営を行っている。</p> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 指定管理者である公益財団法人鳥取市文化財団が管理運営を行った。 平成28年度指定管理料 18,974,000円、平成28年度入館者数 39,097人</li> <li>2 仁風閣の外壁塗装等 3,573,720円</li> </ol> <p>【今後の課題・方向性】 本市を代表する観光施設となっている仁風閣であり、鳥取城跡との相乗効果も見込まれる。建物の劣化等が進んでおり、数年後には大規模な改修が必要と見込まれる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	106%				
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	106%	106%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	指定管理者による管理運営計画は順調に実施され、外壁等修繕も計画通り行った。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	「明治ルネッサンスプロジェクト」をコンセプトにした指定管理者の管理運営は好評であり、3年連続で入館者増となった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>近年、文化財の観光への活用が求められているところであり、現状は望ましい姿であると考えている。また、将来の改修を見据えて保存管理計画等を検討する必要がある。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024302	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活力があるまち		事業期間	平成5年度～全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 の設置及び管理に関する条例、 鳥取市あおや郷土館の設置及 び管理に関する条例
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	指定管理
	主な文化財関連施設への入込数		100,717人	109,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館運営管理費等			予算事業コード	01-09-04-05-32-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 鳥取市あおや郷土館
意図 (どのような状態 にするために)	施設の維持管理を行うとともに、地域の歴史文化を情報発信し、地域の活性化に資するとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	
	年度別実績	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	30,666	0	0	0	0	
	直接経費 A	30,666	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,505	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	12	0	0	0	0
一般財源	26,149	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	人	目標	8000	8500	9000	9500	10000
		(指標の説明) 利用者数		実績	7975	0	0	0	0
	2	あおや郷土館の利用者数	人	目標	8000	8500	9000	9500	10000
		(指標の説明) 利用者数		実績	8862	0	0	0	0
3	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	60	60	65	65	65	
	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合		実績	60	0	0	0	0	

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P245 (教059)</p> <p>【事業の概要】 青谷上寺地遺跡展示館は平成13年8月に開館し、弥生時代から古墳時代初頭に栄えた青谷上寺地遺跡から出土した貴重な遺物等を展示公開するとともに、遺跡等の学習や体験事業を行うことができる施設である。あおや郷土館は平成5年4月に開館し、青谷町地域を中心とした郷土の歴史、民俗、美術、自然等の調査研究や資料収集、展示公開等を行い、学べる、地域文化と観光振興に資する教育文化施設である。両施設とも、平成20年4月から指定管理者による管理運営を行っている。</p> <p>【事業の成果】 1 指定管理者である公益財団法人鳥取市文化財団が管理運営を行った。 ①青谷上寺地遺跡展示館 平成28年度指定管理料 13,016,000円 平成28年度入館者数 7,975人 ②あおや郷土館 平成28年度指定管理料 17,628,000円 平成28年度入館者数 8,862人</p> <p>【今後の課題・方向性】 青谷上寺地遺跡展示館については、青谷上寺地遺跡の整備等に伴い、遺物の展示方法を含めた今後の在り方を検討する必要がある。あおや郷土館については、平成26年度に海女漁、因州和紙、鳴り砂、青谷上寺地遺跡の展示を含めたジオパークコーナーを設置し、複合的な青谷地域の観光案内の拠点となっている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	100%				
	2	あおや郷土館の利用者数	111%	111%			
	3	満足度調査の総合で良いと答えた割合	100%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	指定管理者による管理運営計画は順調に実施された。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	入館者数は前年度を下回ったが、概ね目標どおりの成果であった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>現状維持とし、今後の青谷上寺地遺跡の整備や鳥取西道路の開通等を踏まえ、両施設の在り方を検討していく。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024303	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(歴史博物館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成12年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市歴史博物館の設置及び 管理に関する条例
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	指定管理
	主な文化財関連施設への入込数		100,717人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	歴史博物館管理費			予算事業コード	01-09-04-05-34-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市歴史博物館
意図 (どのような状態 にするために)	登録博物館として適正な維持・管理・運営を行い市民文化の向上に資するとともに、利用者の増加を推進する。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、調査研究・展示・体験活動等を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催	平成29年度 ①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催	平成30年度 ①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催	平成31年度 ①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催	平成32年度 ①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催	
	年度別実績	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の 開催 ③体験活動・イベント 等の開催					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	122,909	0	0	0	0	
	直接経費 A	122,909	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	57	0	0	0	0
一般財源	122,852	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		鳥取市歴史博物館の利用者数	人	目標	21000	21500	22000	22500	23000
	(指標の説明) 利用者数				実績	21009	0	0	0
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	55	55	60	60	60
		(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合				実績	49	0	0
	3			目標	0	0	0	0	0
(指標の説明)				実績	0	0	0	0	

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P245 (教060)</p> <p>【事業の概要】 第5次鳥取市総合計画において「市民が愛護精神や郷土愛を培いながら歴史や文化を体系的に学習できるよう、文化財の研究調査、公開展示、保存管理を行う施設の整備を促進する」と掲げ、平成9年度に建設着手、11年5月に完成、愛称を「やまびこ館」と決定し、翌12年7月1日に開館した。平成18年4月から指定管理者による管理運営へ移行した。</p> <p>【事業の成果】 1 指定管理者である公益財団法人鳥取市文化財団が管理運営を行った。 平成28年度指定管理料 112,036,952円 平成28年度特別展等開催委託 9,829,648円 第2駐車場出入口ゲート機器遠隔操作警備委託 388,800円 平成28年度入館者数 21,009人</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成12年の開館以来16年を経過し、常設展示室の旧態化や空調機器機等の老朽化が進んでおり、対応が必要である。登録博物館であり、収蔵資料の保存活用とともに、市民の学習施設、本市の歴史・文化の調査研究、情報発信の拠点として今後も充実を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	鳥取市歴史博物館の利用者数	100%				
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	89%	89%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	特別展等開催では「因幡と朝廷」など、見ごたえのある特別展等も計画どおり進捗した。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	調査研究等の成果としては十分展示公開できたと考えるが、入館者数が前年度比で約7,000人減であった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>鳥取市歴史博物館は本市の歴史文化等に関わる文化学習施設のセンター館と位置づけており、新市域を含めて調査研究行っている。しかし、開館後16年を経過し、常設展示は古い情報や機器等があり、作動不良を起こすなど対応できなくなっているため、内容・設備ともに、展示等の更新が必要と考える。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024304	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(因幡万葉歴史館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成6年度～全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市因幡万葉歴史館の設置 及び管理に関する条例
	施策	3302	文化財の整備・保存・活用			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	指定管理
	主な文化財関連施設への入込数		100,717人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	因幡万葉歴史館管理費			予算事業コード	01-09-04-05-35-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市因幡万葉歴史館
意図 (どのような状態 にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。また、隣接する国府史跡ネットワーク広場の維持管理と有効活用を図る。
手段 (どうするか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。また、隣接する国府史跡ネットワーク広場の管理委託を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	平成29年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	平成30年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	平成31年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	平成32年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	
	年度別実績	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	44,000	0	0	0	0	
	直接経費 A	44,000	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	301	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	19	0	0	0	0
一般財源	43,680	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		因幡万葉歴史館の利用者数	人	目標	23000	23500	24000	24500	25000
	(指標の説明) 利用者数利用者数				実績	23774	0	0	0
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	65	65	70	70	70
		(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合				実績	75	0	0
	3			目標	0	0	0	0	0
(指標の説明)				実績	0	0	0	0	

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P246 (教061)</p> <p>【事業の概要】 因幡万葉歴史館は古代因幡国庁が置かれ万葉歌人の大伴家持が国守として赴任した国府地域に位置し、「万葉文化」をコンセプトに歴史文化等が学べる教育文化施設である。 平成6年に開館し、平成18年から指定管理者が管理運営を行っている、</p> <p>【事業の成果】 1 指定管理者である公益財団法人鳥取市文化財団が管理運営を行った。 平成28年度指定管理料 40,717,000円 平成28年度企画運営事業委託 1,064,000円 平成28年度国府史跡ネットワーク広場維持管理委託 1,660,000円 平成28年度入館者数 23,774人</p> <p>【今後の課題・方向性】 国史跡である旧因幡国庁跡、鳥取藩主池田家墓所、栃本庵寺跡、梶山古墳、伊福吉部徳足比売墓跡やジオスポットである雨滝等が所在する国府地域の観光拠点の機能を有し、傘踊りの祭典や万葉に関する企画事業等の実施で多くの市民が交流する拠点となっている。 鳥取市歴史博物館の分館的施設として、国府地域を中心とした古代から中世にかけての調査研究を行っているが、調査研究対象を市内全域に広げる必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	因幡万葉歴史館の利用者数	103%				
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	115%	115%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	申請のあった計画どおり事業実施された。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	地域の埋蔵文化財に関する企画展等、好評であった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>国府ガイドクラブや各傘踊り保存会との連絡調整、指定管理者が管理運営している施設への小中学校授業への活用等の調整と同館が行っており、市民の学習や交流人口増加に対する貢献度が高い。施設面では老朽化や常設展示の旧態化が進んでおり、対応が必要である。</p>		